

給食だより 1月号

伊根町立伊根小学校
令和5年1月20日

～1月24日から30日は、「全国学校給食週間」です～

全国学校給食週間は、「給食の歴史や役割について考えよう」という1週間です。伊根小学校でも、1月23日(月)から2月3日(金)を給食旬間として取り組みます。食べものを大切にする気持ちや、感謝の気持ちを大切に、よい機会にしたいと思います。

◆◆◆ 学校給食の歴史 ◆◆◆



おにぎり・焼き魚・つゆもの

明治22年【日本で最初の給食】

山形県の小学校で、貧しくてお弁当を持ってこれない子どものために、昼食として出したことが、学校給食の始まりといわれています。



お味噌汁

昭和17年【戦争により、食べるものが不足】

太平洋戦争という大きな戦争があり、給食を続けられなくなる場所が多くなりました。「どんなものでもいいから、まず食べられること」が当時の給食でした。給食があっても、メニューは1つだけでした。



ミルク(脱脂粉乳)・野菜の煮物

昭和21年【給食が再び始まり、完全給食が始まる】

アメリカから小麦などの食べものの援助を受け、給食が再開しました。始めは、ミルク(脱脂粉乳)・野菜の煮物だけでしたが、やがてコッパンもつくようになり、「パン・ミルク・おかず」がそろった給食になりました。



カレーライス・野菜の湯もみ・スーフ・バナナ

昭和51年【米飯給食の始まり】

これまではパンやめんが中心でしたが、この年から正式に「米飯給食」が始まりました。

給食は、時代や地域によってもちがいます。お家の人に、どんな給食を食べていたのか、聞いてみましょう!



◆どんなことをするの?◆

◆◆ 世界の味めぐり献立 ◆◆

1月23日(月)から27日(金)の1週間に、インド・フィンランド・大韓民国・アメリカ・タイ王国の料理が給食に登場します。Let's “お口で世界旅行”♪

◆◆ 感謝の手紙づくり ◆◆

毎日給食を作ってくださる調理員さん、お世話になっている地域の生産者の皆さんに、手紙を書いて、感謝の気持ちを伝えます。

◆◆ 食に関する学習 ◆◆

どのように給食ができるのか、よくかむとどんなよいことがあるのか、行事食や郷土料理などについて、栄養教諭も指導に入って学習します。



感謝して食べよう

みなさんのもとに給食がとどくまでに、たくさんの方がかかわっています

● 田んぼや畑、海や牧場で働く人



こめや野菜を作ったり、お魚をとったり、牛や豚、にわとりを育ててくれます。

● 食べ物を運ぶ人



食べ物を、とれた場所からみんなの学校まで運んでくれる運転手さん。

● お店の人



よい食材を選んで売ったり、注文に応じて朝、学校まで運んでくれます。

● 給食をつくる人



栄養教諭

● 準備をする人

